



「WTS China Report」は、中国における最近の環境・エネルギー関連の政策動向、トピックについて随時お伝えするものです。本稿では、第14期全国人民代表大会第4回会議により26年3月12日に採択された「中華人民共和国国民経済及び社会発展の第15次五ヵ年計画要綱（中華人民共和国国民経済和社会发展第十五个五年规划纲要）」についてご紹介します。

I. 全国人民代表大会：第15次五ヵ年計画要綱（2026～2030年）

第14期全国人民代表大会第4回会議は、2026年3月12日、「中華人民共和国国民経済及び社会発展の第15次五ヵ年計画要綱」を発表しました。以下では同政策の脱炭素関連内容の一部についてご紹介します。

第3章 主要目標

- ・グリーンな生産・生活様式が基本的に形成される。
- ・カーボンピークアウト目標を予定通り達成する。
- ・クリーンで低炭素、安全かつ高効率な新型エネルギー体系の基盤が構築される。

コラム1 「第15次五ヵ年計画」時期における経済・社会発展の主要指標（脱炭素関連）：

指標	2025年	2030年	5年間累計	属性
単位GDP当たりCO2排出量削減率(%)	17.7 (2020年比)	-	17	義務的
非化石エネルギーがエネルギー消費総量に占める割合(%)	21.7	25		義務的

第7章 現代化インフラ体系の構築

第2節 新型エネルギーインフラの整備強化

- ・エネルギー安全に関する新たな国家戦略をより一層推進し、クリーンで低炭素、安全かつ高効率な新型エネルギー体系の構築を加速させる。
- ・非化石エネルギーによる化石エネルギーへの安全かつ確実に秩序ある代替を推進し、非化石エネルギー倍増の10カ年行動を実施する。
- ・化石エネルギーのクリーンで高効率な利用を強化し、石炭火力発電の改造・高度化及びばら炭代替を推進する。
- ・最終エネルギー消費における電化率を向上させ、エネルギー消費のグリーン化・低炭素化を推進する。

第15章 消費の喚起

第3節 商品消費の拡大・高度化の推進

- ・グリーン消費を発展させ、グリーンで低炭素な製品の普及を積極的に推進する。

第47章 カーボンピークアウトの積極的かつ着実な推進と達成

第1節 炭素排出総量・強度のダブル規制制度の全面的実施



- ・政策誘導と市場インセンティブの結合を堅持し、地方における炭素排出目標達成度評価、業界別炭素排出規制、企業別炭素排出管理、プロジェクト別炭素排出評価、製品別カーボンフットプリントなどの政策・制度を着実に実施する。
- ・カーボンピークアウト・カーボンニュートラル総合評価考課制度を確立し、炭素排出総量・強度のダブル規制目標を科学的かつ合理的に分解し、炭素排出目標の達成責任を確実に果たさせる。
- ・業界別炭素排出規制のメカニズムを確立し、重点業界・重点分野における炭素排出管理要求を明確にし、生産能力の適正化と炭素排出総量・強度のダブル規制を連携させて推進する。
- ・重点エネルギー使用事業者と重点炭素排出事業者管理制度を健全化する。
- ・固定資産投資プロジェクトに対する省エネ審査と炭素排出評価を強化し、新築・改築・増築する高エネルギー消費・高排出工業プロジェクトに対し、炭素排出量の等量または減量置換制度を実施する。（備考：「等量置換」とは、新規排出分と同量の削減を別途確保することで、全体の排出量を増やさない仕組み。「減量置換」とは、新規排出分よりも多い削減量を別途確保することで、全体の排出量を減らす仕組み。）
- ・製品カーボンフットプリント算定のルール・基準を策定し、重点製品の炭素排出制限値の基準を公表し、製品カーボンラベル認証制度を確立する。
- ・炭素排出量統計・算定体系と動的モニタリング・早期警戒メカニズムを整備し、国家温室効果ガスインベントリの作成を通常の実施事項として定着させる。
- ・全国炭素排出権取引市場の対象範囲を拡大し、温室効果ガス自主的排出削減取引市場の構築を加速させる。

第2節 重点分野における省エネ・低炭素化の推進

- ・省エネ・低炭素化改造と石炭消費抑制・削減をより一層推進し、新規電力需要を新規クリーンエネルギー電力で賄うという取り組みの推進を加速させ、石炭と石油消費のピークアウトを促進し、単位GDPあたりエネルギー消費量を10%程度削減する。
- ・高エネルギー消費・高排出プロジェクトを的確かつ効果的に管理し、グリーンで低炭素な技術・設備の革新・応用を加速させる。
- ・要求を満たした高エネルギー消費産業について、再エネ資源が豊富な地域への秩序ある移転を推進する。ゼロカーボン工場・産業団地を建設する。
- ・既存建築物及び都市インフラに対する省エネ・低炭素化改造を強化し、超低エネルギー消費建築及びプレハブ建築の発展の規模化を促進し、冷凍・空調設備の効率向上とグリーン照明行動を実施する。
- ・熱供給システムのグリーン・低炭素化を加速させ、地域の実情に応じて廃熱利用と非化石エネルギーによる熱供給を展開し、熱供給計量改造と熱供給量に応じた料金徴収制度を秩序ある形で推進する。
- ・交通動力の低炭素化代替を推進し、貨物輸送及び公共交通分野における電動化並びにグリーン燃料を用いた車両・船舶の導入を加速し、大口貨物の鉄道・水路輸送比率及び新エネルギー車による輸送比率を向上させる。
- ・計算力施設、5G基地局などの新興分野におけるエネルギー利用効率を向上させる。
- ・重点分野におけるエネルギー効率診断メカニズムを健全化し、エネルギー効率表示制度及びエネルギー効率「トップランナー」制度（備考：中国の同制度は製品に加え、企業や事業者も選定対象とする）をより一層推進する。
- ・グリーン・低炭素・高品質発展先行区の建設を深化させる。

第50章 グリーンな生産・生活様式の形成の加速

第1節 資源の節約・集約的利用の強化



- ・資源总量管理及び全面的節約制度を充実させ、水、土地、鉱物などの資源について、全プロセス管理とサプライチェーン全体での節約を強化する。
- ・循環型経済の発展を促進し、廃棄物の循環利用体系を健全化する。
- ・固体廃棄物のゼロ輸入を確保した上で、海外からの良質な再生原料の輸入・利用を秩序ある形で推進する。
- ・リマニュファクチャリング産業を発展・拡大させ、大口固体廃棄物の年間利用量を45億トン程度にする。

第2節 グリーン発展政策体系の健全化

- ・環境保護と資金投入に関するインセンティブメカニズムを革新し、グリーン・低炭素発展を促進するための財政・税制・金融・投資・価格・科学技術・環境保護などの政策を実施する。
- ・グリーン税制を最適化し、揮発性有機化合物（VOCs）に対する環境保護税の徴収に関する試行を実施し、資源節約及びグリーン製品の利用を支援する税制上の優遇措置を徹底する。
- ・グリーン金融商品・サービスを充実させ、グリーン・低炭素分野への投資割合の向上を奨励する。
- ・グリーン電力証書取引メカニズムを健全化し、柔軟性のある電源（調整可能な発電資源）が系統調整に参加することを促進する価格政策を改善する。
- ・グリーン・低炭素の標準体系を確立・健全化し、国際的なルール・基準の改善及び相互連携・相互認証に向けた主導的役割を果たす。

第3節 グリーン・低炭素化の全民行動の展開

- ・簡素で适度、グリーン・低炭素、文明的で健康的な生活理念及び消費スタイルを力強く提唱する。
- ・企業に対し、グリーンデザイン及びグリーン製造の水準を高め、製品のライフサイクル全体におけるエネルギー・資源消費及び生態環境への影響を低減するよう奨励する。
- ・ごみ分別及び資源化利用の水準を向上させる。
- ・グリーン消費のインセンティブメカニズムを充実させ、政府調達におけるグリーン製品の対象範囲及び規模を拡大する。

※本政策の原文については下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.news.cn/politics/20260313/085af5de5a4b4268aa7d87d90817df2f/c.html>

II. WTS コメント

1. 「第12次五ヵ年計画」から「第15次五ヵ年計画」にかけて、中国のグリーン発展政策は持続的に進化し、戦略的定位置は不断に高まってきた。「第15次五ヵ年計画」は、グリーン発展を「カーボンピークアウト・カーボンニュートラル」目標に牽引された全局的・系統的改革と位置づける。治理体系においては、「炭素排出総量・強度のダブル規制制度の実施」を打ち出し、地方から製品に至る全チェーンにわたる炭素排出管理制度とともに、財政・税制・金融・投資など複数の政策ツールの連携を強化している。任務の重心は、初期段階におけるグリーン産業の育成から、経済全体の系統的改造へと徐々に移行し、「第15次五ヵ年計画」期においては、新型エネルギー体系の構築と重点行業の深度転換の推進に一層焦点化されている。
2. 「第15次五ヵ年計画」期間中において、2030年のカーボンピークアウト目標の達成は、全面的なグリーン転換における重要な任務である。「第15次五ヵ年計画」は、カーボンピークアウトの積極的かつ着実な推進と達成を独立した一章として位置づけ、目標の予定通りの達成を確実なものとすることを強調している。「第14次五ヵ年計画」と比較する



と、具体的な指標が新たに追加されており、その対象は、火力発電、鉄鋼、非鉄金属、石油化学、化学、建材といった重点行業・分野における省エネ・低炭素化、石炭消費量の代替、ゼロカーボン産業団地及びゼロカーボン輸送回廊の建設、循環経済による低炭素化支援、非CO2温室効果ガスの排出削減、脱炭素の基礎能力向上など、多岐にわたる。

3. 「第14次五ヵ年計画」では「発展方式のグリーン化の加速」が打ち出され、経済活動の調整に重点が置かれ、産業・エネルギーなどの経済分野におけるグリーン化改造に焦点が当てられた。「第15次五ヵ年計画」では、「経済社会発展の全面的なグリーン転換の加速」へと表現が格上げされ、「全面的な」という文言が加えられた。これは、グリーン・低炭素化がもはや経済部門の専任事項ではなく、また一部の業界のみの責任でもなく、経済・社会・文化・治理といったあらゆる分野に及ぶ要件であり、生産・生活・消費の全チェーンを貫くものとなったことを意味する。
4. 「第15次五ヵ年計画」におけるクリーンエネルギーへの支援はかつてない強度であり、排出削減と経済成長の両方を牽引するエンジンと位置づけられている。また、「第14次五ヵ年計画」と比較して、「第15次五ヵ年計画」では、グリーン水素を新興産業の一角として重点的に育成することが打ち出されている。具体的には、再エネによる水素製造設備の水準向上、経済的かつ安全な大規模水素貯蔵・輸送技術の早期実証・確立、水素インフラの最適配置、グリーン水素産業チェーンのグリーンアンモニア・持続可能な航空燃料(SAF)への拡大、水素の交通・電力・工業分野における応用開拓などが挙げられる。グリーン水素産業は、政策上の重要な展開期を迎えており、今後、大きな発展のチャンスが到来する可能性がある。

佛山早稻田科技有限公司

<事業内容>

脱炭素関連サービス

- 脱炭素現状評価及び計画、炭素排出削減技術カスタマイズ提案、脱炭素データ管理及び開示サポート
- 清潔エネルギー変更、エネルギー貯蓄の提案・実施サポート
- 脱炭素支援政策及び認証関連サポート、脱炭素能力構築及び研修

環境順法化対応サポート・特定課題解決

- 汚染排出現状評価及び診断、環境手続き実施サポート、環境政策コンサルティングサービス及び技術サポート
- 汚染対策技術カスタマイズ提案、環境施設工事全体計画及び施工監督・管理
- 汚染物検測・モニタリング及び汚染物異常値処理

環境順法化対応サポート・リスク回避 管理向上

- 環境順法化診断、環境人材育成
- 情報提供、環境定例会議実施、環境ニーズ対応

早稻田会員クラブ

- ビジネスマッチング、企業見学、専門セミナー、政策解説
- 日本技術の現地応用、日中協業プロジェクトのコーディネート

<問い合わせ先>

担当者：Ms. Judy（日本語可）

TEL：18688262655

Email：judy@wts-cn.com